

平成22年町消防演習

火消しの士気高らかに

4月18日、町消防団（菊地民雄[※]団長・団員数351人）の消防演習が行われました。

午前7時半のサイレンを合図に、主会場となった山田南小校庭には町消防団、山田町婦人防火クラブ連合会（阿部美恵[※]会長）など、関係者約600人が集結。

開会行事では、統監の沼崎喜一町長が「近い将来高い確率で発生するといわれる宮城県沖地震に備え、災害発生における迅速な情報伝達体制や円滑な避難支援体制の整備が求められています。そのためには、地域の情報を十分に把握している消防団員の牽引力が必要不可欠。地域密着性・即時対応力・要員動員力といった消防団の機能と特性は地域防災の要であり、今後も地域防災のリーダーとして、より一層ご尽力願いたい」と訓示しました。

続いて各種表彰が行われ、消防活動に尽力してきた団員らの功労や功績を讃えました。入・退団者の辞令交付式では、今年

の入団者18人を代表して第8分団の甲斐谷陽平[※]さん（山田・20歳）が声高らかに宣誓を読み上げると、会場は凜とした雰囲気になりました。

その後は、消防団員が小隊訓練や消防操法（水出し操法）を機敏な動作で展開。織笠婦人防火クラブは、AED（自動体外式除細動器）を使用した心肺蘇生法を行い、地域での緊急事態に備え日ごろから訓練してきた成果を披露しました。ほほ笑ましい遊戯で演習に花を添えた山田幼稚園の幼年消防クラブは、「火遊びはぜつたいしません、させません」と元気に火災予防を呼び掛けました。

引き続き船越地区内の国道45号で行われた分列行進では、団員らが統制の取れた陣容を披露。船越漁港に会場を移し行われた放水訓練では、火消しの士気もそのままに高々と何本もの水の柱を上げ、集まった町民や関係者に町消防団の総合力と心意気を示しました。

船越漁港で行われた放水訓練

表彰された皆さん

消防庁長官表彰

▽永年勤続功労章 芳賀孝（団本部分団長）

県知事表彰

▽功績章 大久保章雄（1分団長） 木村義永（11分団長） 山崎光一（1分団副分団長）

日本消防協会会長表彰

▽功績章 芳賀孝（団本部分団長）

▽勤続章 鳥居福夫（団本部副分団長） 木村義永（11分団長） 山根和夫（3分団副分団長）

豊間根由記雄（12分団副分団長） 佐々木正之（12分団部長）

県消防協会総裁表彰

▽功労章 佐賀祐司（団本部副分団長）

▽功績章 大久保章雄（1分団長） 佐々木健明（7分団長）

木村義永（11分団長）

▽婦人防火クラブ員表彰 佐藤節子（山田町婦人防火クラブ連合会常任委員）

▽内助功労章 昆典子（4分団長令夫人）

町長表彰

▽勤続章 佐々木元光（2分団部長） 中村秀一（5分団班長） 箱石寛幸（10） 佐々木郁雄（10） 浜長剛（12）

▽功績章 福館宏也（1） 佐々木敏（1） 橋端大助（2） 佐



③



①



②



④

訓練の成果を存分に披露

①統制のとれた陣容を披露した分列行進／②団員の士気を高めるラッパ隊／③きびきびとした動作で行われた消防操法／④織笠婦人防火クラブによる救急訓練



藤昌義(3) 佐々木隆義(3)
 昆省吾(4) 佐々木剛(4)
 基野真行(4) 中村貴昭(5)
 山崎典博(6) 山田宜幸(6)
 村田幸一(9) 佐藤雅哉(9)
 堀合正幸(9) 柏谷貴文(10)
 鈴木幸次(11)
 ▽感謝状 野田實(防火水槽築造土地提供者) 坂本安子(内助功勞者)
 県消防協会宮古地区支部長表彰
 ▽精錬証 佐々木敏明(1) 山崎洋(1) 山崎真(1) 佐々木盛一(2) 佐藤太(9) 佐々木克昭(10) 芳賀健一(11) 佐々木光浩(11)
 ▽勤続証 山崎健裕(1) 山崎潔(1) 佐々木克博(1) 佐々木千秋(3) 平石勉(9) 畠山達哉(11) 木村利之(11) 勝山寿也(11) 佐々木哲也(11) 尾形広幸(11) 福士善幸(12) 斎藤馨(13)
 町消防団長表彰
 ▽精績章 黒沢一成(1) 清水馨(2) 佐藤賢一(2) 秋田浩美(3) 橋浦恒一(4) 藁沢寛樹(6) 鎌田雅和(7) 阿部愛(7) 佐々木智博(8) 湊謙一(8) 内館徹(9) 佐藤信夫(9) 芳賀暁洋(11)
 ▽無火災表彰 第3分団(5年間) 第7分団(5年間) 第8分団(3年間)
 ※()内は分団名など・敬称略